

3 住宅の供給と安心できる住環境の整備

良好な住環境の整備に努めます

■街なみ環境整備事業

【土木費】(継続) 5,514万円
(建設部 都市計画・建築住宅課)

「久美浜一区まちづくり協定」が結ばれている久美浜一区の一部区域において、伝統的な街なみの保全と生活基盤の整備を図り、ゆとりと潤いのある住環境整備を実施しています。平成16年度からの10か年の事業で、これまでに消防車庫、ポケットパーク、総合案内サイン、橋梁修景、道路美装化、防火水槽の設置などを行いました。

平成22年度は、久美浜公会堂の改修工事を行います。また、街なみに配慮した住宅などの外観修景補助も2件予定しています。

久美浜一区まちづくり協定

久美浜一区内の仲町区、土居区、東本町区、新橋区の4つの区において、建築物などの新築、増改築、改修を行う場合の色彩、形態など意匠の統一を図ることにより、景観に配慮した整備を行うことを定めた関係住民による協定です。



改修予定の久美浜公会堂

■建設業需要拡大緊急支援住宅改修費補助金

【土木費】(継続) 450万円
(建設部 都市計画・建築住宅課)

住宅における居住環境の向上を促進し、受注の低迷する市内建設業の需要拡大を図るため、市内の建設業者により住宅の改修工事を行った場合において、住宅の所有者に助成金を交付します。

※50万円以上の住宅改修などを対象として3万円を助成します。



地震による倒壊を防ぎましょう

■木造住宅耐震診断経費

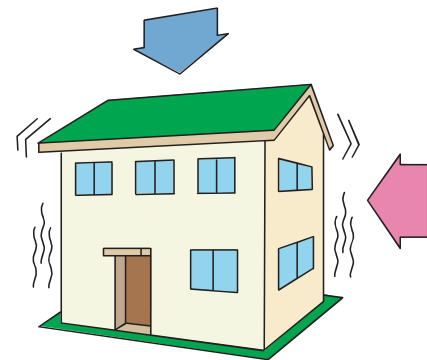
【土木費】(継続) 56万円
(建設部 都市計画・建築住宅課)

耐震性の低い建物は、地震のときに倒壊の可能性が高く、入居しているかたの生命を危険にさらす恐れがあり、また、建物の倒壊により避難路が塞がれた場合、救出・消火活動の妨げになることが予想されます。

市では、建物の耐震性の向上を図るため個人住宅の耐震診断を行います。

対象となる建物は、昭和56年以前の旧耐震基準で建てられた木造住宅であり、診断は京都府に登録している耐震診断士により行います。

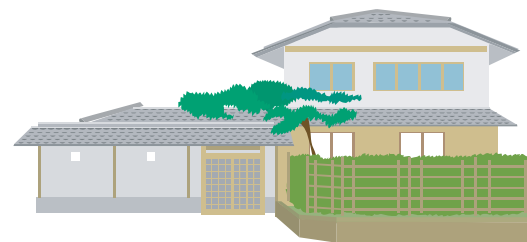
※診断に要する費用3万円のうち、2千円のみ個人負担となります。



■木造住宅耐震改修費補助金

【土木費】(継続) 120万円
(建設部 都市計画・建築住宅課)

居住している住宅が、昭和56年以前の旧耐震基準で建てられた木造住宅であって、耐震診断の結果が「倒壊する可能性がある」または「倒壊する危険性がある」に該当し、現在の耐震基準に適合する耐震補強工事を行う場合に、60万円を上限として費用の2分の1の額を補助します。



4 地域交通の確保

公共交通の利用を促進します

地域交通の利便性を改善

■峰山駅東口ホーム等改良事業

【総務費】(新規) 2,333万円
(企画総務部 企画政策課)

北近畿タンゴ鉄道(KTR) 峰山駅東口(消防署側)から上りホーム(2番3番)に車椅子での進入・乗降ができるように、進入通路とホームの改良(スロープ設置)工事を行います。また、東口に自転車を20台程度収容できる駐輪場を新設します。



KTR 峰山駅東口ホーム

北近畿タンゴ鉄道の利用促進

■KTR利用促進・活性化支援事業

【総務費】(新規) 402万円
(企画総務部 企画政策課)

北近畿タンゴ鉄道(KTR)は、通学・通勤や観光・ビジネス客にとって重要な公共交通となっています。

しかしながら、平成21年4月から12月までの定期券以外の利用者数は、新型インフルエンザ、ETC割引などにより前年比11%減となるなどたいへん厳しい経営状況が続いています。また、市内7駅の乗車人員は平成14年度の約57万人をピークに、平成20年度には約40万人となるなど利用人員の減少が進んでいる状況にあります。このため、KTRの利用を促進していくために次の事業を行います。

○公共交通利用促進企業等認定事業

利用促進マネージャーの設置や通勤・出張時の利用など、KTRの利用促進に取り組む市内企業などを認定し、3か月間有効のKTR無記名全線バスを交付するほか、市のホームページなどで紹介します。

○高齢者運転免許証の自主返納支援

マイカーから公共交通へと利用の転換を進めるため、70歳以上の高齢者で自動車運転免許証を自主返納されたかたにKTRの「シルバー定期券」(3か月有効)を交付します。

○KTR魅力発信事業(宮津線転換開業20周年事業)

KTR宮津線転換開業20周年を契機に、KTRの魅力を再発信し、さらなる利用促進を図るため、京丹後市内の駅で切符購入者を対象としたスタンプラリー、「KTRで行く京丹後の旅キャンペーン」(仮称)を実施します。



ペインティング車両「丹後ゆめ列車」に乗り込む乗客とトレインアテンダント

■コウノトリ但馬空港利用航空運賃助成金

【総務費】(継続) 80万円
(企画総務部 企画政策課)

コウノトリ但馬空港の利用者を拡大し、東京国際空港(羽田)との直行便の就航を実現するため、市民のみなさんや市内在勤・在学者、ふるさと応援団員のかたが、コウノトリ但馬空港から東京国際空港(羽田)までの航空便を利用する場合に、航空運賃の一部を助成します。

○コウノトリ但馬空港～大阪国際空港(伊丹)～東京国際空港(羽田)を利用の場合

片道4,000円(往復で8,000円)を助成

○「コウノトリ但馬空港から行く東京2日間・3日間」(往復航空券+宿泊のセット商品)4,000円を助成

※但馬空港推進協議会から片道1,500円、往復で3,000円の助成があり、合計7,000円の助成となります。



空から見た小天桥(久美浜町)と日本海